

みちのく

ココロとカラダの癒し旅

秋田県男鹿桜島リゾート HOTEL きららか

不思議なバス停

男鹿半島の西海岸、門前から戸賀までのあいだは、真山、本山などの急峻な峰々が海岸からじかにそびえ立ち、その中腹に一本の細い道路が張り付いている。たいへん険しく、かつ、半島ドライブの白眉ともいえる区間である。今は県道だが、かつては大栈橋有料道路と呼ばれ、その建設には自衛隊が当たったということからも、大変な難工事であったことがうかがわれる。

この区間に、不思議なバス停がある。「金ヶ崎温泉」と、それには記されている。まったくの山の中、クルマを数台止められる程度の空地はあるが、あたりに温泉らしい施設はない。試しに、がけ下をのぞいてみても、温泉どころか下りていく道すらない。とてもミステリアスなバス停なのだ。

海にせり出した岬の上に建つHOTELきららか



森とフクロウのオブジェが旅行者を迎えてくれるロビー



宿の名前は宮沢賢治の詩の一節から



どの客室からも日本海の眺望が抜群だ

海辺のオーベルジュ

このバス停の種明かしをすれば、確かにかつて「金ヶ崎温泉」は実在した。現在のバス停直下の波打ち際にナトリウム・塩化物物が自然湧出していて、まだ道路も通じていない時代から戸賀や加茂青砂の漁師たちは湯小屋を建てて海上から舟で出かけてその湯に親しんでいたのだ。

今は入浴施設は残っていないが、その源泉を引湯して秋田県は昭和五十四年に旧加茂青砂小学校グラウンド跡に県営男鹿桜島荘を建てた。日本海の夕日や海岸の奇岩怪石を間近に眺めながら温泉に入れる宿として、男鹿探訪者には人気の宿だった。

その桜島荘が民間に移譲されることになり、「たざわ芸術村」などの観光事業で実績のある「わらび座」の手によって平成十六年四月に再スタートを切ったのが、この「HOTELきららか」だ。

施設面ではあまり大きく手を加えていないので、桜島荘時代に訪れたことのある人には懐かしさを覚える向きもあるだろう。レストランと大浴場、そしてすべての客室から男鹿半島の荒磯と水平線を眺めることができ、館内にいるだけでも男鹿の魅力の半分は満喫できる。写真愛好家の一人旅や、連泊してのんびりとした時間を過ごすお客が多いというのもうなずける。好

湯上がりにはマッサージ機に腰掛けてビデオ鑑賞でも



潮風を浴びながら入る露天風呂は爽快（そうかい）。日没時に入りたい



夕日を浴びる大浴場。湯につかりながら海を眺められる展望温泉



リゾート気分を満喫したい人は洋室をどうぞ



設備の整ったバリアフリー仕様の部屋もある



女性客への優しい心遣いがうれしい



和室の客室。客室はすべて南向きのオーシャンビュー

天の日の眺望がよいのは言うまでもないが、こういう宿であれば、天気の荒れた日に日が一瞬、眼下の岩場で碎け散る波を眺めていても飽きないだろう。

大きく変わったのは料理。この宿は、本格懷石料理の宿だ。使う食材は「はしりから旬のもの」。それを、腕に覚えのある料理人のとても丁寧な仕事ぶりでお客の目と舌を楽しませてくれる。絶景の宿で旬のおいしいごちそう、男鹿にはもう何度も行っているという人にも、改めてもう一度足を運

ばせる魅力がこの宿の料理にはある。旅行をしたくなったときに思い出す「宿」というだけでなく、季節のおいしいものを食べなくなったときに思い出す「オーベルジュ（宿泊施設付きレストラン）」としても、ぜひ覚えておきたい。わらび座の経営ということで、四月から十一月までの毎週土曜日には館内のレストランで、わらび座の役者さんによるミニコンサートも催される。誕生日や結婚記念日などのお祝いに利用したい宿でもある。



炊合せはフカヒレの姿煮



椀盛



水菓子



向付



八寸は趣向を凝らした10品。
品書きと照らし合わせて楽しみたい



夕刻のレストランはまるで豪華客船のラウンジのようだ



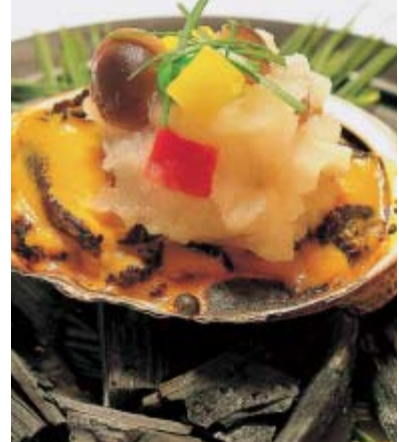
男鹿水族館
「男鹿の海大水槽」

「きららか」に泊まる旅では、ぜひ男鹿水族館GAOも訪れてみたい。昨年七月にオープンしたこの新しい男鹿水族館は、以前の水族館から大きくスケールアップしてとても見応えのある展示内容になった。発達した胸びれを使って平泳ぎのようなユニークな泳ぎ方をするハタハタの生態も観察できる。今年三月に男鹿水族館生まれとして第一号になったゴマファザラシの赤ちゃんも先ごろから一般公開された。きららかでは、宿泊と男鹿水族館の入場をセットにした「GAOパック」も用意されている。宿の部屋から日本海の波間を眺め、GAOでその波間下の生き物たちに触れる…、海づくしの男鹿の小旅行だ。

(文：写真IIかとうりゆこII秋田市)

水族館も楽しもう

強肴(しいざかな)は雲丹(うに)ソースのかかったアワビ



▲朝食の内容も盛りだくさん



▶男鹿名物の石焼鍋は2人前からの別注文

HOTEL KIRARAKA

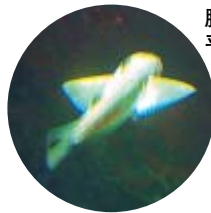
施設のご案内

- 客室 26室(和室15・洋室9・特別室1・バリアフリー「月見草」)
- 宿泊人員 82名様
- 駐車場 180台
- 展望大浴場・露天風呂
- 大宴会場(150名様収容)
- 小宴会場 和室「すすらん」
洋室「はまなす」
- レストラン
- カラオケルーム
- 野外施設 バンガロー8棟・キャンプ場・展望テラス・共同炊事場棟(利用期間 5月1日～10月31日)

お一人様 1泊2食付き

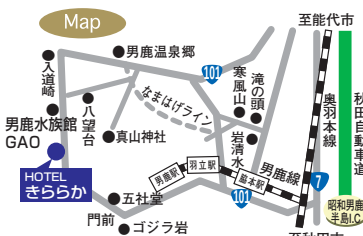
1室4名様 13,275円より(税・サ込)

1室2名様 15,375円より(税・サ込)



胸びれを使って平泳ぎのように泳ぐハタハタ

男鹿水族館
生まれの第1号
ゴマファザラシ
の赤ちゃん



男鹿桜島
リゾート
HOTEL



〒010-0671

秋田県男鹿市戸賀加茂青砂字中台1-466

TEL.0185-37-2311

Fax.0185-37-2315

HPアドレス <http://www.kiraraka.jp>

Eメールアドレス info@kiraraka.jp

